

元気いっぱい！市長あいさつ運動！

令和8年9月1日（火）に今年度の市長あいさつ運動が鹿本小学校で行われました。

鹿本小学校では、4月からくすのき会の5・6年生を中心に明るいあいさつを毎朝呼びかけてきました。特に、6年生は、朝からクラスごとにあいさつ運動、校庭の落ち葉集めや草取り、校舎の廊下や階段の掃除をクラスごとに分かれて、1週間交代で行っています。5年生も校庭の草取りを曜日を決めて行っています。朝から、鹿本小学校を自分たちですらにすてきな学校にしたいと思い自ら進んで行動しています。

今回のあいさつ運動には、早田市長様や教育委員会の方々、ころう君（鞠智城キャラクター）など多くの参加がありました。この日も、子どもたちは、いつものように明るくさわやかなあいさつで一日をスタートさせました。参加された方々は、鹿本小学校の子どもたちの明るいさわやかなあいさつで元気をたくさんもらわれたようです。

これからも、明るくさわやかなあいさつを心がけ、「あいうえおの学校」をみんなで創っていききたいと思います。保護者の方々には、子どもたちの励ましをお願いします。



道徳の授業で学んだこと

令和8年9月2日（水）に5年2組で道徳の研究授業がありました。研究授業とは、教師が指導技術の向上を目指して、学校内外の教師の前で公開授業を行い、その後指導方法や評価方法等について議論・検討するものです。

今回の授業は、友達と互いに信頼し合い、よさを認めながら人間関係を築いていこうとする心を育てるというねらいで教科書の「心のレシーブ」を読むことから学習を始めました。初めは、チームメイトに対して否定的で失敗を責めたり、気持ちがバラバラだったりしていたチームが、友達と互いの気持ちを話すことで、友達の努力を知り、よさを認め励まし合うようになっていきます。5年2組の子どもたちは、この話を読み深めることで、意見の異なる友達と話すことの大切さを学んでいきました。授業の終末には、自分たちの生活を振り返ることを通して、これからの自分たちの生活を見直すきっかけになったようです。

意見の異なる人同士が話をすることは、大きな争いをなくすことにつながっていくのではないかと思います。子どもたちがこれから創っていく未来に期待をするとともに、私たち大人も積極的に意見の異なる人と話をする機会を設けなければならないと感じました。

